

★ここが知りたい!★

米沢市立病院紹介 18

☆泌尿器科編☆



今回は、泌尿器科長の白岩学医師（写真：右）にお話を聞いてみましょう。

Q 泌尿器科の鏡視下手術と女性泌尿器科の手術について、教えてください。

A 鏡視下手術は、開腹手術と違って皮膚に1cm程の穴を数個開け、カメラ(内視鏡)や手術器械(電気メスや臓器をつかむ鉗子など)を入れてテレビモニターに映しながら行う手術です。そのため、小さな傷で済み、体への負担がより少ない手術となっています。当院では、腎・副腎手術のほとんどを鏡視下で行っています。小さな腎癌の場合は「部分切除術」という、癌の部分だけを取る手術も行っています。

最近注目される前立腺癌については、大学病院を主体として施行している最先端のロボット支援下前立腺手術や強度変調放射線治療 IMRTに始まって一般的な薬物治療までと、治療法は多岐に渡ります。患者さんの病状・病歴に合わせて治療法を提案させていただきます。個々人で治療法の選択があり、まるで背広を作るのと同じようなので「テーラーメイド治療」と呼ばれています。

女性泌尿器科では、尿漏れ・膀胱脱・子宮脱などに対する手術に力を入れています。特殊なテープで尿道の位置を安定させ、尿漏れを予防する「TVT手術」や、網目状のシートを用いて膀胱や子宮を元の位置に戻す「メッシュ手術(TVM手術)」などです。メッシュ手術は経腔的にニードル(針)を通して行うもので、お腹を切開せずに行うことができる手術です。尿漏れは“歳をとったから仕方がないもの”ではなく、WHOも重要視している立派な疾患です。ひとりで悩んだりせず、早めに受診されることをお勧めします。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>